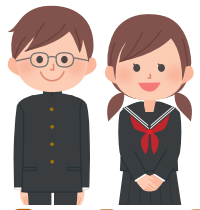




親子でともに
歩みだす



那須中学校 立志式

3月15日那須中学校で、2年生生徒の立志式が行われました。

式典では、鈴木秀信校長が式辞を述べた後、県知事からのメッセージが読み上げられ、限らない可能性と輝く未来が待つ生徒たちに励ましの言葉が贈られました。また、1組の梅崎七美絵さんが生徒を代表して誓いの言葉を述べ（写真右）、学校のスローガン「集個共輝」の実現に向けて一人一人が個性を發揮し、4月からは最上級生としての自覚を持ち学校をリードしていくこと、進路選択という大切な時期に自分たちの未来は自分たちで作るという意識を持ち続けることを力強く宣言しました。その後、親子手紙交換が行われ（写真中央）、感謝の気持ちや将来に向けた思いを言葉に込めて伝え合いました。

式典後は記念活動としてワークショップが行われ、簡単なゲームで緊張をときほぐした後（写真上）、親子が別々にグループに分かれて、思春期にまつわるテーマごとに意見交換をしました（写真左）。参加した生徒からは「友達との親と話すことで新しい考えや意見が生まれた」、保護者からは「人生これから、子どもと同じようにまだまだやれることがたくさんあると振り返ることができた時間だった」という感想が聞かれました。



協力隊として最後の年になる3年目がスタートしました。今年は卒業後も那須町に定住し生業をつくれるよう、本格的に取り組む1年にしていきたいと思います。

取り組みのひとつとして昨年から続けてきた自家焙煎の珈琲や伊王野産の野菜の販売を始めようと思っています。これらの生業は、那須町にきたからこそチャレンジできることだと思っています。物理的な場所としてのスペース（余白）と、地元の方のサポートによって可能性が開いたわけです。

一方、コミュニティサロン「伊王野陣屋」では、これまでに音楽ライブや映画上映会、講義やギャラリイ展などを開催し、今年度は知人の映画監督の作品も上映する予定です。現在は「若野伊王野桜まつり街角ギャラリイ展」に合わせて、和紙造形作家山口美紀さんの個展「和紙造形の世界」を4月20日まで開催しています。ぜひ足を運んでくださいね。（※土日祝は休みです）

また、前職である編集ライターの



コーヒー焙煎に取り組む大瀧隊員

経験やWEBプログラムのスキルを活かして、これまでにくつかのWEBサイトを制作してきました。

私が那須町に来る前に全国の地方取材し制作した「地方移住大作戦」では、那須での暮らしをイメージできるように、私の那須町での日々の暮らしを発信しています。そして、「ナスマッチ」もひとつの那須「若野」では、古くからの城下町である若野地区の魅力的な情報を発信しています。さらに、「那須里山ライド」では、おすすめのお店などを紹介し、「自転車の町 那須」をアピールしています。地元サイクリストの方々と一緒に那須を盛り上げていけたらと思っています。

全国の市町村で移住・定住の促進に力を入れており、那須町も同じ状況かと思えます。情報を発信し那須町に魅力を感じて若い人が訪れ、自分で新しいことを始められるような場をつくるお手伝いができればと考えています。